



障がい者が北本産『薪』づくりで地域とつながる！ 農商福が連携したふるさと納税型 CF プロジェクト



▲ プロジェクトを実施する皆さん



▲ 薪割りの様子

本市では、市民や市内事業者と連携した「まちのためにやってみたいプロジェクト」を応援するふるさと納税型クラウドファンディングに取り組んでいます。

障がい者福祉事業所「くじら雲」がチャレンジする本プロジェクトは、障がい者の地域とのつながり創出、受託作業の工賃アップを目指し、地元企業とタッグを組んで薪を製造・販売するローカルブランドプロジェクトです。

市内の雑木林等を管理する榎矢口造園の間伐材を活用し、薪の製造をくじら雲の利用者さんが行います。1年以上かけて乾燥させた薪は、カインズ北本店での店頭販売やイベントでの出店販売等を予定しています。

目標金額達成にむけて、寄附の応援をよろしくお願いいたします。

目標
金額

200万円

使い道

原材料費、設備費、
ブランドデザイン費など

クラウドファンディング実施期間

11/1（金）から1/30（木）まで

ふるさと納税型クラウドファンディングとは

応援したいまちの取り組み内容へダイレクトに寄附し、なおかつふるさと納税と同様に税控除を受けることができるクラウドファンディングです。返礼品を設定しないことで北本市民も寄附できる仕組みを構築し、プロジェクトの応援を通してまちへの愛着醸成を目指します。

《過去に実施したプロジェクト》

- 令和2年 シェアキッチン ジャズ喫茶「中庭」
- 令和3年 クッキー屋さんが作る防災用の長期保存クッキー
- 令和4年 植物と陶芸体験〇×□ (INBA 休`ックス) /うえのへや写真館
- 令和5年 KILIG DANCE STUDIO、ヘア&ネイルスクール

くじら雲所長 鹿谷英治さんよりコメント

くじら雲は2018年に開所してから「地域を元気に」「地域の外へ出る」をモットーに、常時16名程の利用者さんが通っています。障がいを持つ方たちは、自由に行きたい所へ行けない、イベントに参加できないなど、コミュニティが限定的になったり、閉じこもりがちになります。この度いただいたチャンスは、利用者さんの世界を大きく広げることができるものとなるはずです。



今年4月に障がい者差別解消法が改正され、まちの中では障がいを持つ方と出会うことが多くなってきています。9月のパリパラリンピックでは、様々な困難を抱えた選手たちの目覚ましい活躍に皆が釘付けになりました。障がいを持つ方たちとどんな関わりができるのか、求められているのか。身近なところでできることはないだろうか。たくさんの方からプロジェクトへご支援いただくと大変ありがたいです。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

プロジェクトの詳細ページ

ふるさとチョイス GCF

プロジェクト名

地元の間伐材を活用した made in 北本の『薪』をつくる！農商福連携の新たな仕事づくりで地域とつながる架け橋を

URL

https://www.furusato-tax.jp/gcf/3626?utm_source=saitamaken_kitamotoshi&utm_medium=referral&utm_campaign=lgmk_11233

プロジェクトページ QR コード

